

先輩の話を進路に役立てる

2月14日に先輩の話を聞く会が行われ、1、2年生79人が進路が決定した3年生から経験談を聞きました。

1、2年生は進学や就職などそれぞれの希望進路ごとに、同じ進路の3年生から実際に行った試験対策などのアドバイスを受けたり、「最後まで諦めず頑張る」と激励の言葉を貰ったりしました。生徒たちは真剣な表情でメモを取り、頷きながら話を聞いていました。松澤渉さん(2年)は「先輩の『さまざまな要素があると思うが、最終的な進路決定は自分の意思を大切にすべき』という話が印象に残った。後悔しないためにも日々一つ一つの勉強にしっかり取り組んでいきたい」と話し、自身の進路実現に向け気を引き締めていました。



3年生④に経験談を聞く生徒たち

家庭科の授業を通じ園児と交流

1月に1年生が五日市保育園に家庭科の授業で手作りした節分の鬼を贈ったところ、園児からお礼の絵や写真が届きました。

家庭科の授業では、年間を通じて福祉施設などに季節の壁紙などを贈る活動をしています。今回園児から届いた絵は、高校生が贈った鬼をまねて描かれており、大畑勢那さんは「自分の鬼を上手にまねしてくれて驚いた」、岩澤玲王さんは「自分たちが作ったものを喜んでくれて嬉しかった」と話していました。また久保志歩さんは「直接言葉で伝えられなくても、相手に喜んでもらえることを感じた」と活動を通じて園児と心を通わせた様子でした。



鬼のお面をかぶる五日市保育園④と園児から受け取ったお礼に笑顔を見せる高校生



先輩の出し物に笑顔になる3年生

1月26日、葛巻高校体育館で予餞会が開催されました。予餞会は同校生徒会の3大行事の一つで、卒業を迎える3年生へ祝福と感謝の気持ちを伝え、3年間を締めくくる思い出を作ってもらおうと企画されています。開会式では生徒会長の丸山晃奈さん(2年)が「今までの行事は3年生に引っ張ってきてもういよいよ」とあいさつ。1、2年生の各クラスや有志のグループは、歌やダンス、クイズ大会など趣向を凝らした出し物で大いに盛り上げていました。また、教職員からは演劇と歌のサプライズもあり、会場には笑顔が溢れていました。クラス発表の合間には、3年生へのメッセージが読み上げられ「3年生の明るさで、葛巻祭やクラスマッチも盛り上がりました」、「部活動や寮でお世話になりました」など、たくさんの感謝の言葉が贈られ、3年生は素敵な思い出を胸に刻んだようでした。

生徒会が予餞会を開催  
高校生活を締めくくる思いをこめて

春の足音が一步また一步と近づく今日この頃、町の皆さんはどうお過ごしですか?今年は何年と比べて雪が少なく聞きました。私は寒いのが苦手ですが、雪が積もるとすごくワクワクするので、今年のような暖冬は嬉しいような悲しいような複雑な思いです。私は毎年春が来るのがあまり嬉しくありません。好きな先輩が卒業してしまうからです。今年も例外なく卒業してしまうと思うと、とても寂しいです。

卒業する先輩へ感謝



四作美結(2年)  
先輩方には新天地でも今までどおり頑張してほしいです!いつでも高校に遊びに来てください!

高校生記者レポート



生徒会や部活でお世話になった先輩④と

かりでした。部活動で関わってくれた先輩方は、途中から転部してきた私にもとても優しくしてくれて、文字では伝えきれないくらい感謝しています!最後に、関わってくれた3年生の皆さんご卒業おめでとうございます!ますますのご活躍をお祈りしています!!



①体育館への廊下に掲示された先輩への寄せ書き②クラス全員で披露した合唱③ユニークな衣装でパフォーマンスする生徒④先生方の歌のサプライズ⑤1、2年生に見送られ笑顔で退場する3年生